



火災

火災が起きた時の対応

初期消火の3原則

万が一火災が発生した時は、まず隣近所に火事を知らせ、すみやかに119番通報を！初期消火で火を消せなかったら、無理をせず、すばやく避難しましょう。

1 早く知らせる

- 「火事だ」と大声を出して、近所に知らせる。
- 119番に通報する。近くに人がいれば通報を頼む。



2 早く消火する

- 水や消火器で初期消火。
- 座布団で火を叩く、毛布でおおうなども効果的。



3 早く逃げる

- 天井に火が燃え移ったら、すぐに避難する。
- 燃えている部屋の窓やドアを閉めて空気を断つ。



火災

消火器の使い方

使い方 粉末・強化液消火器の場合



安全ピンに指をかける上引き抜く。

ホースをはずして火元に向ける。

レバーを強く握って噴射する。

点検ポイント



指示圧力計がある場合は、圧力が緑色の範囲内にあるか確認する。

- 安全ピンのはずし方はメーカーにかかわらず共通。はずし方の確認をしておきましょう。
- 火災の種類によってラベル（※1）が異なります。どの火災に適した消火器が確認しておきましょう。
- 高温多湿を避けて設置してください。さびついたり変形しているものは専門業者に点検を依頼しましょう。また、一度安全ピンを抜いた場合も（噴射していなくても）同様です。



電気の困った！お任せください

電気設備設計施工・消防設備設計施工

有限会社 **みのわ電気工事**



☎0265-76-5341 長野県伊那市境 1351番地

119番通報するときは

119番通報は正確・簡潔に伝えましょう。

- ① まず火災であることを伝える。
- ② 場所（住所・世帯主）はどこか。
- ③ 火災現場付近で目印になるものは。
- ④ 何が燃えているか。
- ⑤ 逃げ遅れた人の有無やケガ人は。

※電話を受けた消防本部の職員が順次お聞きします。
あわてずに、落ち着いて状況をお知らせください。



安全に避難するための6つのポイント

1 天井に火が
燃え移ったときが
初期消火をやめて
避難する目安

2 避難は高齢者、
子ども、病人を優先

3
服装や持ち物にこだわらず、
できるだけ早く避難する

6
逃げ遅れた人が
いるときは、
消防署にすぐ連
絡する



5
いったん逃げ出したら、
再び中には戻らない

4
煙の中を逃げるときは、
できるだけ
姿勢を低くして
口と鼻をハンカチ等で
ふさぐ

住宅用防災機器の活用

■火災の発生を早く知る「住宅用火災警報器」

煙や熱を感知すると警報音で知らせます。すべての住宅の寝室に（寝室が2階以上の場合は階段上部にも）設置が義務付けられています。「連動型住宅用火災警報器」は設置されている場所すべてで連動して警報音が鳴るため、火災の早期発見、早期通報につながります。

■火災を未然に防ぐ「安全装置付調理器具」

異常がみられると、自動的にガスや電気の供給を止めます。

memo